

あしっ 育成だより 7

立教 181 年 7 月 23 日発行
編集 / 天理教芦津大教会育成部

特集 ①芦津 道の後継者のつどい ②春の育成行事



《親のことば》

伏せ込みの実は受け継がれる

こうした縦の伝道の実をご守護いただく道はなかなか困難であることは、皆さん方は実感しておられるところだと思います。しかし、神一条の心遣いで通ることを心に定め伏せ込む実は、必ず次の代へ受け継がれるのであります。それを楽しみに私たちは陽気ぐらしに向かって末代かけて道をつなぐのであります。教祖から教えていただいた道をさらに先へと、教祖のお望みにかなう世の中が実現するまでつないでいく、私たちはそのつなぎ役であります。

(立教 178 年「少年会年頭幹部会」における真柱様お言葉より)



①芦津 道の後継者のつどい開催

事後の丹精で 若者の未来は変わる



昨年8月から今年3月にかけて「後継者講習会」が親里で開催され、お道の将来を担う 20 歳から 40 歳までの男女、2 万 1 千 252 名が受講しました。芦津大教会からも、男子 161 名、女子 176 名の計 337 名が受講し、それぞれ勇み心をもって地元へと戻りました。

しかし、受講直後は勇んでいても、その気持ちは時間と共に薄れてしまいます。受講者の事後の丹精として、大教会では、8月中旬から9月初頭にかけて「芦津 道の後継者のつどい」を開催し、受講者にも未受講の方にも、改めて「日々の陽気ぐらしの実践」ができるよう促していきます。

●一人ひとりにお手紙が

後継者講習会が終了して、すでに4カ月が過ぎました。最初に受講した方は、受講から早や1年近くになろうとしています。

後継者講習会の実行委員長を務められた中山大亮様は、「直属担当者連絡会」の挨拶で、「肝心なのはここからだと思います。引き続き、各直属教会として、いろいろと工夫しながら、事後の丹精に励んでいただきたい」と述べられました。その上でご自身ができることを思案され、受講生一人ひとりに手紙を書いて送っていただきました。

こうしたお心に応えることのできるよう、道の将来を担う若者たちにの育成、丹精に、私たちは精一杯取り組まねばなりません。

●熱い気持ちを思い起こそう

講習会受講後のアンケートを読むと、それぞれが自分にできる陽気ぐらしを実践しようという意気込みや、改めて信仰の喜びを感じたことが伝わってきます。

しかし、周囲にお道の人がない環境では、時間が経てば熱い気持ちもだんだんと薄れてきてしまいます。

また、どうしても仕事の都合がつかなかったり、



好評だった後継者講習会のクラスミーティング

子供の世話や家族の介護といった家庭の事情や、2泊3日の日程が合わなかったなど、さまざまな理由で受講できなかった方も多くいます。

後継者講習会を受講した方には、受講当時の熱い気持ちや勇み心を思い起こす機会を作り、受講できなかった方には、受講した方と同じ思いになってもらいたい。そうした上から、大教会主催で「芦津 道の後継者のつどい」を開催することとなりました。

このつどいでは、改めて自分の心に矢印を向け、日々の陽気ぐらしの実践ができるよう後押しします。さらには来年6月の大教会記念祭へ向け、「日々プラスワン」の実行を促して、教祖 140 年祭へ向けての人材育成を目指します。

●矢印を自分に向ける

後継者講習会のテーマは「日々の陽気ぐらしの実践」でした。3日間を通して、自分にできる陽気ぐらしを探し、受講後はそれを実践できるように、教えに照らしながら矢印を自分に向けることを促しました。

「自分に矢印を向ける」とは、常に物事を主観的に捉え、「すべての出来事は、人のせいではなく、自分の問題である」という意識を持って、自分の周りに起こるさまざまな出来事を思案すること。その結果、親神様の御守護や周囲への感謝が生まれ、勇んだ気持ちで講習会を終えています。

このつどいでは、勇んだ気持ちと呼び起こすことと、未受講の方にも「矢印を自分に向けて」思案することを実践してもらいます。

●「日々プラスワン」を実践

さらには、来年迎える大教会創立 130 周年記念祭に向け、「報恩感謝の心で 日々プラスワン」について、自分にできるプラスワンを改めて考え、それを実行に移すことを促します。

私たちは親神様の大きな親心によって生かされています。その御守護に感謝するだけで終わるのではなく、そのご恩に報いること。どんな些細なことであっても、自分にできるプラスワンを毎日積み重ねることが大切です。この積み重ねは、いずれは「堅き長きもの」となり、神様にお受け取りいただける誠真実になります。

教会長の皆様には、教祖 140 年祭へ向けての人材育成の上に、若者がこのつどいに参加するようご丹精のほど、何卒よろしくお願いします。

芦津 道の後継者のつどい

●日 程 第1次 8月18日(土)～19日(日)

第2次 8月27日(月)～28日(火)

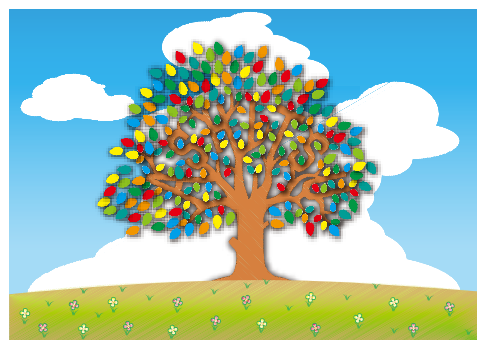
第3次 9月1日(土)～2日(日)

●対 象：20歳～40歳までの教会長・ようぼく・信者子弟

●場 所：芦津詰所

●受講御供：2000円

●携行品：ハッピー、筆記用具、保険証、雨具、宿泊に必要なもの



初日	午後	受付(13:00～13:30) 開講 グループミーティング① 講話①「矢印を自分の心に向ける」
	夜	夕づとめ選拝 懇親会
2日目	午前	朝づとめ参拝 講話②「日々プラスワンの実行を」 グループミーティング② 閉講(11:30頃解散)

託児について

託児年齢 生後 91 日目より小学校就学前まで

託児期間 講習時間中(食事、入浴、就寝時は親と一緒に過ごします)

携行品 ミルク、離乳食、着替え、オムツなど

※すべてに名前を記入してください。

託児についての詳細は、大教会育成部(担当・石川健郎)までお尋ねください。

②春の育成行事

春・新学期こそ 学生に目を向けよう



管内学生親睦会・新入生歓迎会

ゴールデンウィークも終盤となった5月6日、大教会育成部が主体となって、婦人会、青年会、学生担当委員会との協力のもと、「管内学生親睦会・新入生歓迎会」を開催しました。

これは天理高校1部・2部、教校学園高校、天理大学、天理医療大学、奈良保育学院など、親里管内の学生を対象に開催し、芦津の仲間としての繋がりを深めることを目的としています。さらには、4月から入ってきた新しい学生との繋がりを作り、今後の学生生活を送る上での情報交換や、学生会、婦人会、青年会の行事に参加することを促していきます。

今回の参加者は、高校生12名（うち、新入生が9名）、大学生層14名が参加しました。

◆婦人会・青年会の活動紹介

最初に山田道弘育成部長があいさつ。続いて、4月から入学した新入生が自己紹介を行いました。



▲一人ずつマイクを持って自己紹介

その後、男子は青年会の時間、女子は婦人会の時間として、それぞれ別室に分けられました。

婦人会は、まず井筒年子支部長様よりお話。続いて女子青年の活動ビデオを見ました。

青年会は、今川聖一委員長がお話をした後、青年会の活動紹介ビデオ、ねりあいを行いました。

◆大教会長様が親しくお話を

その後、大広間に集合し、大教会長様よりお話を頂きました。大教会長様は、「おちばで学ぶ有り難さ」について、分かりやすくお話くださり、学生たちは真剣に聞き入りました。

続いて、学生会スタッフが中心となってレクリ



▲大教会長様のお話

エーションゲーム。お互いを知り合い、交流する時間を作りました。

詰所や大教会に学生たちの「居場所を作る」ことは大切なことで、この親睦会がきっかけで、学生会、婦人会、青年会の行事へも参加しやすくなり、仲間の輪がどんどん広がっていきます。



▲屋外での楽しい会食



第5回少年会ドッジボール大会

5月27日、少年会芦津団は、天理大学第1体育館を開場に、第5回目となるドッジボール大会を開催しました。

この大会は、本格的な競技ドッジボールではなく、和気あいあいとドッジボールを楽しみ、それをきっかけに「こどもおちばがえり」や「教会おとまり会、こども会」への参加を促すための手立てとして開催しています。



参加人数、教会も徐々に増えており、今回は少年会員117名、育成会員77名の計194名が参加。小学校低学年の部（1～3年）3チーム、小学校高学年の部（4～6年）9チーム、中学生



の部3チームが、それぞれ総当たり戦で熱戦を繰り広げました。

遥拝の後、岩切正義副団長があいさつ。全員でラジオ体操をしてから、いよいよスタート。

これまでボールは、合皮製の公式ドッジボールを使用していましたが、小さい子や女の子から「当たるとすごく痛い」などの声があったため、今年からソフトバレー専用の柔らかいボールに変わり、みんなが楽しめるようになりました。

試合が始まると、3つのコートに、子供たちの元気いっぱいの声が響きます。負けたのが悔しくて泣き出す子もいましたが、どのチームも全力でプレーし、最後まで目が離せないゲームが続出しました。

表彰式の後、竹内義忠団長があいさつ。「こどもおちばがえりには、たくさんのお友達を誘って、またおちばへ帰ってきてください」と、こどもおちばがえりの勧誘をお願いしました。全員で本部東礼拝場へ移動し、お礼のおつとめを勤めて解散しました。

◆学生スタッフが大活躍！

ドッジボール大会を裏方として支えてくれたのが、管内の高校・大学生と若手本部勤務者などのスタッフです。「管内学生親睦会」でもドッジボール大会のひのきしんをお願いしたところ、21名の学生が参加してくれました。

主に得点係、記録係、主審・線審、コートの準備・後片付けなど、暑い中を精力的に動いてくれました。皆さん、本当にありがとうございました！





8月9日(水)～15日(火)

学生生徒修養会 高校の部

- 場所 本部施設
- 内容 レクチャー、ひのきしん、おてふり・鳴り物練習、グループワーク、感話大会など
※期間中、別席を1席運べる日を設ける
- 費用 10,000 円
- 受講資格 高等学校に在学する者
- 集合 8月9日午前8時30分 芦津詰所集合



8月15日(火)～16日(水)

教会につながる DAY

- 対象 芦津につながる学生
- 内容 グループワーク、懇親会、海水浴
(水着を持参してください)
- 費用 無料
- 集合 8月15日午後2時 芦津詰所集合
- 解散 8月16日午後5時 芦津大教会解散

学生会



8月24日(金)～25日(土)

野外練成会 (キャンプ)

- 集合 24日 午前8時30分 大教会出発
解散 25日 午後4時 大教会到着予定
- 場所 和歌山県立白崎青少年の家
- 参加費 1,000 円
- 内容 飯ごう炊さん、キャンプファイヤー、海水浴など(水着を持参してください)
- 対象 小学4年生～中学3年生
- 定員 50名(8/20申込締切)



少年会



8月23日(水)

夏休みあしつ親子参拝

- 場所 芦津大教会
- 趣旨 親子揃って大教会の月次祭に参拝し、縦の伝道への意識向上を図る
- 少年会員にはおさがりを準備しております。親子揃ってご参拝ください。

育成部

人を育てる「座右の書」

人を導くために参考となる書籍を紹介します



●人を育て 組織を鍛え 成功を呼び込む 勝利への哲学 157 / 原 晋 著

●ぴあ出版 ●1,200 円(税込)

「陸上だけじゃない、
人として成長できるかが大切なんだ。」

青山学院大学駅伝部監督として、2015年に箱根駅伝で初優勝。今年1月に4連覇を果たす強豪に育てあげた原晋監督の、サラリーマンの経験を生かした独自の指導法が注目されています。本書は、原監督の発言の数々をまとめた1冊。その言葉には、人材育成や子育てに通ずるヒントが溢れています。

①芦津 道の後継者のつどい ②春の育成行事

あしつ 育成だより 7

立教 181 年 7 月 23 日発行
編集 / 天理教芦津大教会育成部